

川崎市の子ども医療費の助成こんなに遅れが!

対象年齢

「18歳年度末まで」 2自治体
 「中学卒業まで」 30自治体
 「小学卒業まで」 1自治体 ←川崎市のみ



こどもの医療費が住む自治体によって負担が違うのはおかしいです。すべての子どもがどこの自治体に住んでも中3までは自己負担なく無料化してください。〈保護者の声・宮前区〉



私は中学一年生の子供がいます。血液の持病があり、毎月病院に行っていますが、医療費がかなり負担です。〈保護者の声・川崎区〉



一部負担金



*助成対象年齢であっても、受診時に窓口負担の徴収があるかないか。

「なし」 29自治体
 「あり」 4自治体
 {「中学1年から最大500円/回」 1自治体
 {「小学4年から最大500円/回」 3自治体 ←川崎市

子どもが3人もいるので医療費の事を考えると少しの風邪だと我慢させてしまう事が多いです。景気も悪いのでどこかで出費を抑えたいと考えてしまいますが、子どもの健康に関する事なので…。〈保護者の声・川崎区〉



川崎市は 県内トリプル ワースト

小児医療費の助成基準

2022年4月時点

信じられない事実



所得制限

*助成対象年齢であっても、親の所得額によって助成がうけられなくなるペナルティーがあるかないか。

「なし」 19自治体
 「あり」 14自治体
 {「中学1年から」 1自治体
 {「小学1年から」 4自治体
 {「4歳翌月から」 1自治体
 {「3歳から」 2自治体
 {「1歳から」 6自治体 ←川崎市



税金しっかり払っているのに医療費の負担に差があるのは納得いきません。〈保護者の声・中原区〉



助成制度の拡充に向けて できること



①「署名」 右記 QR コードを読み込むと、神奈川県保険医協会のホームページに接続して署名用紙の PDF データが取得できます。ご記入の上、下記の事務局までご送付ください。

②「みんなと話す」 川崎市の助成の遅れを知らない人が多いです。拡充に向けてはまずこの現況を知ってもらうことが重要。ぜひ話題にしてください!

本来、小児医療費助成制度の趣旨は、「経済的格差なく安心して受診できる環境整備」。制度の充実、こどもの健康を支えるだけでなく、市の未来を支える人材育成にも繋がります。署名への皆さんのご理解とご協力をお願いします。